

かとうぜきかいらんぼん 可動堰回覧板

平成20年4月1日号 (No.33)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

これから始まる管理橋の上部工事などについてご紹介します。

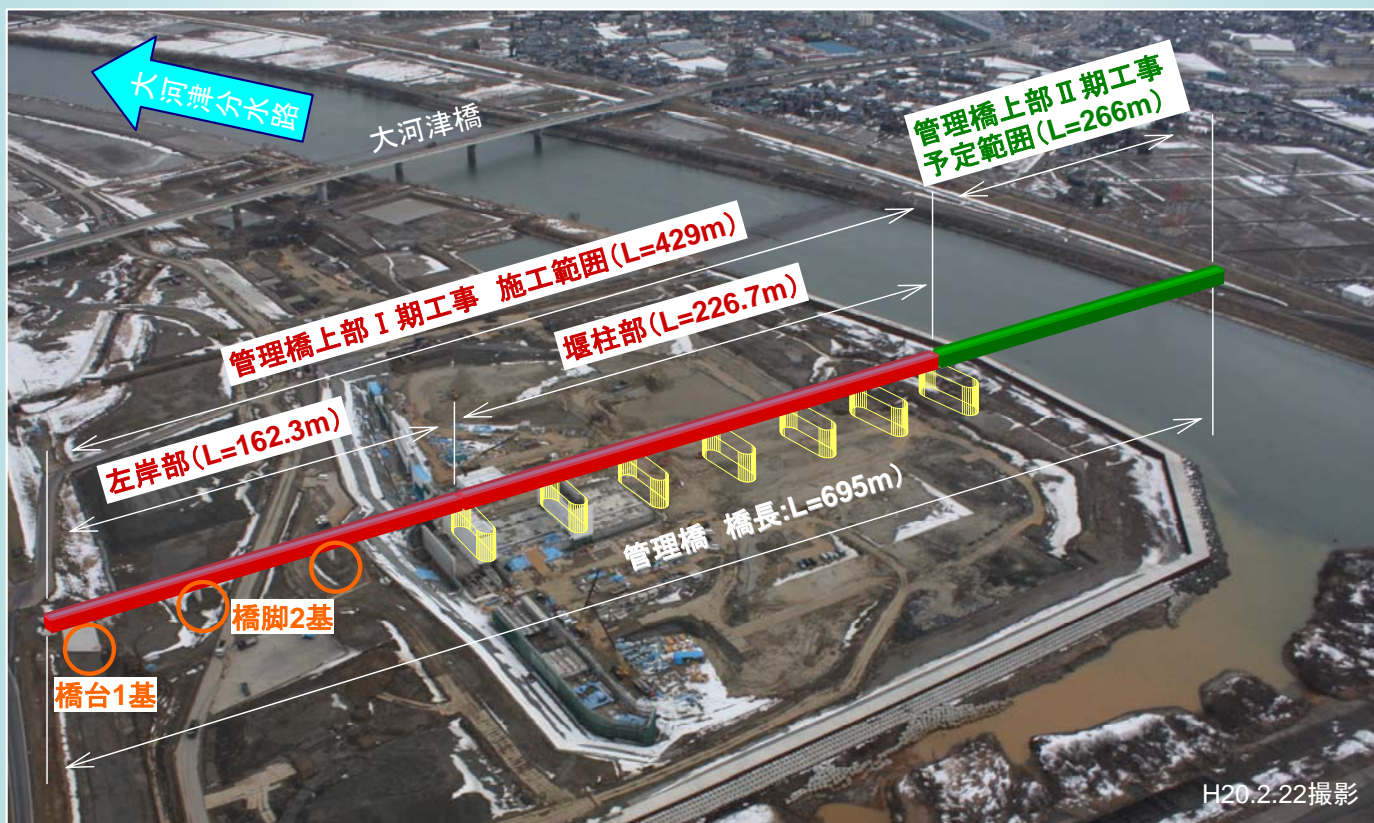
管理橋上部工事が始まります

新しい可動堰の下流側には、堰を管理するために必要な「管理橋」が設置されます。

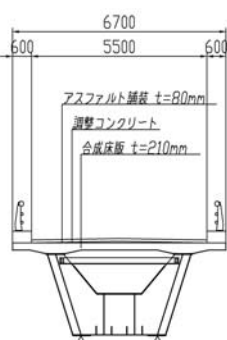
下の写真にも示していますが、これまでに管理橋を架けるための左岸側の下部工(橋台1基、橋脚2基)を施工済みであり、これから管理橋の上部工事(I期工事)が始まります。

この工事は新しい可動堰に架かる全長695mの管理橋のうち、下の写真に赤色で示した左岸部と堰柱部の合わせて429mの上部工を施工するもので、平成23年3月までの約3年間で工事を行う予定です。下の写真に緑色で示した残りの266mは、今回の工事が完了後に引き続き行う予定です(II期工事)。橋は鋼製の箱桁タイプで、橋桁の色は平成18年に地域の皆さまから頂いたご意見に基づき、「からし色」(ゲートは「うぐいす色»)に決まっています。

当面は工場で部材の製作を行い、現場での工事は今年10月以降の予定です。工事の順序など具体的な内容は、現場での工事が近づいたら改めてご紹介します。

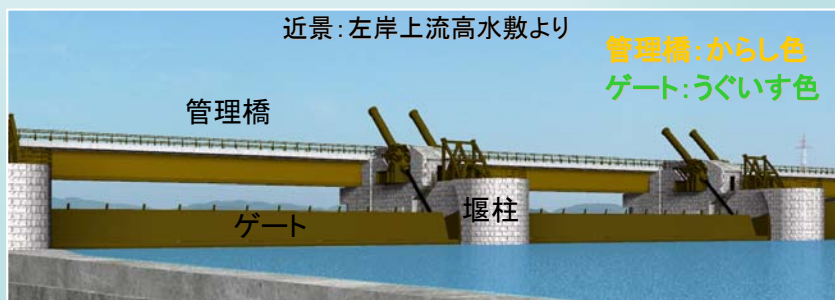


管理橋標準断面図



橋長: L=695m
幅員: w=5.5m

新可動堰(管理橋)イメージパース



※パースの色彩は実物と若干異なります

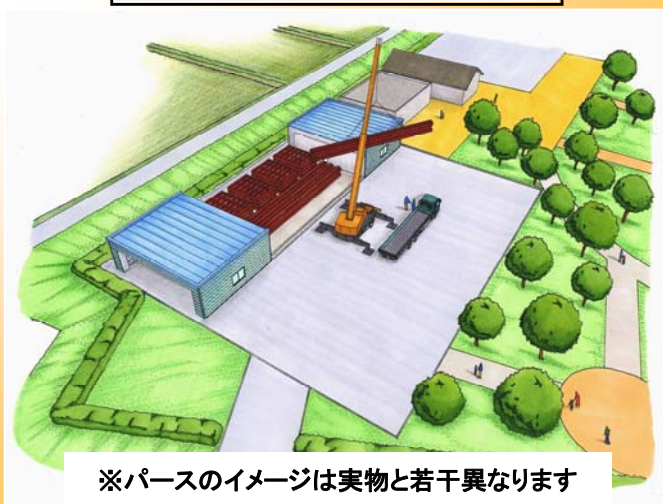
修理用ゲート格納庫の新築工事を行っています

可動堰のゲートは水量を調節するための大変重要な施設であり、ゲートの開閉操作が不能となったりすることがないように、適切な維持管理が必要です。そのため、ゲートの部品交換や詳細な点検を行う際にも水量調節機能が確保できるように、修理用ゲートを設置することとしています。現在、本川橋の橋詰めにおいて、平常時に修理用ゲートを保管するための格納庫の工事を行っています。新しい可動堰はゲート1門の幅が約40mもあり、それに見合う修理用ゲートが必要なため、格納庫自体も相当の規模が必要となりますが、格納庫自体を移動させることが可能な構造とすることにより、大がかりなクレーン設備が不要なコンパクトな設計となっています。現在は基礎工事を進めており、引き続き上屋の工事を行い、6月頃には完成する予定です。

修理用ゲート格納庫イメージパース



基礎工事の状況(平成20年3月19日撮影)



※パースのイメージは実物と若干異なります

大河津分水殉職者慰霊祭を挙ります

4月18日(金)10時より、大河津出張所構内におきまして、大河津分水殉職者慰霊祭が行われます。この慰霊祭は、明治42年に始まった大河津分水路工事とその後の維持管理作業中に殉職された100名の方々の慰霊として、毎年桜の咲く季節に行っているもので、今回で73回目となります。(写真は平成19年4月20日に行われた慰霊祭の開催状況です。)



燕市長来賓挨拶(H19.4.20撮影)



献花(H19.4.20撮影)

『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。
0258-32-3134 (平日 AM9:00~PM4:00)

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121(建設監督官在所)
大河津出張所 :大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等
建設監督官(可動堰改築担当):大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

大河津可動堰情報館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>

信濃川大河津資料館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>